

平成29年4月27日

各位

株式会社池田泉州銀行
富士通株式会社

～池田泉州銀行と富士通、「営業事務支援システム」の共同開発に合意～

タブレット端末を活用した業務のペーパーレス化を実現へ！

株式会社池田泉州銀行（本社：大阪府大阪市北区、頭取：藤田博久）と、富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中達也）は、営業店窓口や訪問先でご依頼を受ける際の管理帳票（ご依頼事項管理票）を電子化し、ご依頼いただいた事項を一元的に管理する「営業事務支援システム」の共同開発に合意しました。平成29年7月の稼働を予定しています。

本システムでは、ご依頼内容や預り物等をタブレット端末に入力することで、事務手続きのペーパーレス化を実現するとともに、入力情報を店内担当者のPCと即時連携する機能や、管理台帳の自動作成機能、印紙の一括納付機能などを活用し、事務の堅確化や効率化を実現します。

また、視認性を高めた端末画面や、入力内容等の確認を「電子サイン」で行っていただく機能も備え、手続きの明確化・迅速化を図ると共に、不正や過誤に対する防止効果も高まります。

池田泉州銀行と富士通は共同で、利便性向上およびより安全・安心した金融サービスのご提供に向け、継続して機能拡大を検討していきます。

■ 共同開発の主な機能

第一ステップ：営業に伴う「お客さまご依頼事項」の効率化、堅確化の実現
平成29年7月稼働予定

お客さまのご依頼による預り物の授受、処理の期日管理について、タブレット端末を活用したシステム化を実現し、預り物管理にかかる事務の効率化、堅確化を図る。

ねらい	主な機能
堅確化	処理チェック ・お客さまのご依頼事項の処理状態を一元管理 担当者別、処理日と返却日ごとの照会機能
堅確化 効率化	電子伝票化 ・データ化による牽制 起票時刻・場所情報保有、印紙自動判定、記入漏れチェック
効率化	台帳自動化 ・管理台帳の自動作成 各管理台帳の付け込み、消し込みなどのシステムチェック

第二ステップ：将来的な拡張性（検討中）

堅確化 効率化	通帳等の管理	・通帳等と管理台帳のシステムチェック
	他システム連携	・外訪先から振込処理などの実現、債権書類などの参照機能
	事務量の把握	・データの蓄積により事務量等の把握

以上